

第1・2学年生活科学学習指導案

日 時	平成16年9月8日(水)5校時
児 童	1年生 男5名 女2名 計7名 2年生 男3名 女2名 計5名
場 所	1年教室
指導者	吉田 ますみ

1 単元名 しぜんのなぞなぞさがそうよ

2 単元について

(1) 設定理由

本単元は、学習指導要領の内容の(5)(7)(3)に基づいている。子ども達が、実際に身近な野山に出かけ、地域の自然について調べたり、気付いたことを人に知らせたり、さらに詳しく聞いたりする活動を通して、季節や生き物の様子、変化の不思議さ、人との関わりに関心が持てるようにすることをねらっている。

本校は、豊かな自然に囲まれているため、子ども達は、ふだんの生活の中で多くの自然にふれている。登下校で発見した花や虫を見せ合ったり、情報を寄せ合ったりすることも日常茶飯事である。また、ウサギ1羽、ニワトリ9羽を輪番で飼育しているので、生き物を育てる体験にも恵まれている。さらに、年4回、周辺の自然観察学習をしている。ファミリー班という縦割り班に分かれて、春は、ニホンタンポポ・シロバナタンポポの分布を調べ、夏は、メダカ・ザリガニなどの水生生物・モウセンゴケの観察、秋は、ウメバチソウ・センブリ・ツリガネニンジンなどの観察、冬は、白鳥飛来地での餌付けと観察などを行っている。このように、たくさん自然体験をしているが、低学年の場合、その体験は直接的なものであっても能動的な関わりでなかったりすることが多い。

そこで、一人一人の子どもが、自然を詳しく知っている方から聞いたりしながら能動的に関わる体験活動を通して、知的な気づきを喚起し、自分を取り巻く人たちとの関わりを深めながら、自然への関心を高めるようにしたいと考え、本主題を設定した。

自然と関わり、生き物と関わり、それを詳しく教えてくれる自分を取り巻く人たちと関わることによって、自然に対する慈しみや人に対する親しみが増し、豊かな人間性を育むことができると思う。

(2) 児童について

児童は1年生と2年生から構成されている。2年生は、昨年、1年生の生活科の学習を終えているので、本年度は1年生が2年生の単元から学習することになった。学級は違うので、1年生と2年生と一緒に学習するのは、生活科だけである。学級の違う者同士と一緒に学習するためには、気遣う気持ちを持つことが自然と必要になってくる。教えたり、お世話したりすることや互いに気遣うことなどを活動の中で学び取らせながら学習を進めている。

前単元「なかよくなりたいね」では、地域を探検し、地域の人たちとの関わりやふれ合いを通して、自分と自分を取り巻く人たちとの関わりについて学習した。

本単元は、地域の人達と関わりながら、自然のことを学んだり、自然の中で遊んだりする活

動である。

子ども達は、草花を観察したり育てたりすることには意欲的であるが、昆虫や水生生物に触れながら、観察したり育てたりすることについては、約半数の子どもが抵抗を感じて敬遠してしまう傾向がある。それは、少ない経験による偏った先入観があるからであると思う。ここでは、自然の中で気軽に植物や昆虫・水生生物に触れる体験をすることによって、「すごいな。」「どうしてかな。」という気持ちをもったり、そのことに詳しい地域の人たちに、自分が発見したことを伝えたりもっと詳しく聞いたりしながら、自然の不思議について調べようとする意欲をもたせたい。そして、自然や自分を取り巻く人たちとの関わりに親しみや愛着を感じられる子どもに育てたいと考える。

(3) 指導にあたって

第1小単元では、身の回りの自然について話し合う。どの子どもも気付いたことを話せるようにするために、校地内にある「うわっこ山」で遊んだ時のビデオや自然観察学習の時の写真を見せながら話し合うようにする。また、ゲストティーチャーを招いて、自然の不思議についての話を聞き、「自然のことをもっと知りたい。探検したい。」という気持ちにつなげていく。

第2小単元では、探す場所について話し合う。自然観察学習で探検したところやゲストティーチャーから聞いたことを参考にして場所を決め、探検の準備をしたりマップを作ったりする。

第3小単元では、自然の不思議を探す探検をする。ゲストティーチャーと一緒に探検しながら、話を聞いたり、発見したことを確かめたりしながら、見つけた生き物を実際に飼ったりする。ゲストティーチャーに直接話しかけることができない子どもには「はてなカード」に聞きたいことを書かせておいたり、教師と一緒に付いて質問させるようにする。

第4小単元では、探検で発見したことや観察したこと、飼育して分かったことなどをなぞなぞにして発表し合う。発表会には、畑の学習でお世話になった祖父母を招いて関わりを深める。

仮説1「自分を取り巻く人たちとの関わりを多く取り入れた体験活動」との関わりとしては、地域の方をゲストティーチャーとして招き、自然の不思議さ面白さについてお話を聞くこと、様々な場面でお世話になっている祖父母の方たちに、自分が発見したことを発表する活動を設定することで、そのことにより子ども達は、親しみや愛着などの豊かな心をもつと考える。

仮説2「他者との関わり方の観点を取り入れた評価の活用と支援」との関わりでは、学習活動の中で他者と関わる場面において教師が声掛けをしたり、一人一人の学習カードの中に関わり方の良かった点を励ます教師からのコメントなどを入れる工夫をする。

3 単元の目標

校区の身近な野外に出かけ、季節や生き物の様子、変化の不思議について興味や関心をもって調べたり、地域の人から聞いたりしながら自然や人と進んで関わろうとしている。

(関心・意欲・態度)

地域の自然について経験したことを話し合ったり、実際の探検で体験したことを通して自然や生き物の面白さに気付く。

(気付き)

気付いたことや人に知らせたいことを発表したり、聞いたり、まとめたりすることができる。

(思考・表現)

4 指導計画 (12時間)

月	小単元の目標と学習活動	評価規準()(観点) <評価方法 >
7	<p>【しぜんのことはなそうよ】(1時間)</p> <p>身の回りの自然について、体験したことや発見したことを話し合い、自然の不思議探しへの意欲をもつことができる。</p> <p>見つけたり捕まえたりした生き物について話し合う。</p> <p>自然の中で不思議に感じたことについて話し合う。</p> <p>* ゲストティーチャーの話聞く。</p>	<p>花や草、虫などを見つれたり飼ったりした経験について発表しようとしている。</p> <p>自分が見つけたり聞いたりした自然の不思議や秘密について発表しようとしている。</p> <p>(関心・意欲・態度)</p> <p><観察、発表の様子・内容></p>
	<p>【どなたところをさがそうか】(2時間)</p> <p>自然の不思議を探す場所を決めたり、事前の準備をしたりすることができる。</p> <p>自然の不思議探しをする場所について話し合う。</p> <p>* 友達と協力しながら、自然の不思議探しの計画を立てる。</p>	<p>「しぜんのことはなそうよ」で話し合ったことをもとに不思議や秘密を知るための場所を決めようとしている。</p> <p>(関心・意欲・態度)</p> <p><観察、発言・発表></p> <p>互いの話を聞き合いながら安全に活動することを考えたり、観察に必要な物を準備したりすることができる。</p> <p>(思考・表現)</p> <p><観察、学習シートチェック></p>
	<p>【さがしてみようよ】(5時間)</p> <p>昆虫や水生生物、植物に興味をもってその不思議を見つけれられるとともに、進んで地域の人との関わりをもつこと、生き物を飼うことができる。</p> <p>自然の不思議探しをする。</p> <p>地域の人に教えてもらいながら、自然の不思議探しをする。</p> <p>* 地域の人との関わりを深める。</p> <p>自然の不思議探しマップを作る。</p> <p>生き物を飼うことについて話し合う。</p>	<p>虫やザリガニ、草花のことを知るために進んで関わろうとしている。</p> <p>自然の不思議について詳しく知っている地域の方から話を聞こうとしている。</p> <p>(関心・意欲・態度・他者との関わり)</p> <p><観察></p> <p>飼い方を調べたり聞いたりしながら、飼うことができる。</p> <p>(思考・表現)</p> <p><観察・質問チェック></p>
	<p>【こんなひみつあるんだよ】(4時間)</p> <p>自然の不思議探しで気付いたことを「なぞなぞ」として表現したり、自然のなぞなぞ発表会をし、たくさんの自然の不思議を発見したりすることができる。</p> <p>自然の不思議探しについて話し合い、</p>	<p>自分の気づきをなぞなぞ等の方法で表現することができる。</p> <p>(思考・表現)</p> <p><なぞなぞカードや表現物チェック></p>
8		
9		

<p>「しぜんのなぞなぞ」作りを考える。 「しぜんのなぞなぞ」カード作りをする。</p> <p>「しぜんのなぞなぞ」をみんなで出し合う。 (本時)</p> <p>* 友達の発表内容のよさに気付く。</p>	<p>「しぜんのなぞなぞ」を聞く人に分かりやすく発表することができる。(思考・表現)</p> <p style="text-align: right;"><発表の仕方></p> <p>友達の話をよく聞いたり、発表の工夫や内容の珍しさに気付いたり、進んで答えようとしている。</p> <p>(関心・意欲・態度、気付き、他者との関わり方)</p> <p style="text-align: right;"><観察、発言・発表の様子、内容></p>
---	--

小単元の目標 学習活動 *自分を取り巻く人たちとの関わり

5 本時の指導

- (1) 目標 「しぜんのなぞなぞ」を分かりやすく発表することができる。
「しぜんのなぞなぞ」発表会をすることを通して、友達の発表内容のよさに気付いたり、進んで関わろうとしたりしている。

(2) 展開

段階	学習内容と学習活動	評価規準 () 支援 () 留意点 (・)
導入 (5分)	1 学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「しぜんのなぞなぞはっぴょう会」をししぜんのふしぎをいっぱい見つけよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの活動を想起させ、本時がこれまでの活動のまとめであること知らせる。 学習課題を知り、単元のまとめとしての活動が意欲的に進められるように、気持ちを高める工夫をする。
展開 (35分)	2 「しぜんのなぞなぞ」発表会の前に。 <ul style="list-style-type: none"> 発表の順番を決める。 司会者を決める。 発表の「お手伝い隊」を決める。 発表の仕方を確かめる。 3 「しぜんのなぞなぞ」発表会をしよう。 <ul style="list-style-type: none"> この巣は、何の巣でしょう。 この木の花は次の絵のうちどれですか。 カブトムシとクワガタムシはどっちが強いでしょう。 この花は何という花でしょう。 この虫は、うわっこ山にたくさんいま 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで発表する児童がいないときのためくじ引きを準備する。 自分の発表以外で、全員1回は手伝うようにする。 発表のポイントを押さえさせ、発表が上手にできるようにする。 実物や絵・映像などで、「なぞなぞ」が分かりやすいように工夫させる。 「しぜんのなぞなぞ」を聞く人に分かりやすく発表することができる。 (思考・表現) <発表の仕方> 友達の発表に進んで答えたり考えたりしている。 (他者との関わり方)

	<p>すが、何という虫ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これは、チャッピーが好きな葉っぱです。名前は何でしょう。e t c . <p>4 みんなの良かったところを見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 珍しいことを見つけていてよかった。 ・ おもしろいなぞなぞでよかった。 <p style="text-align: right;">e t c .</p>	<p style="text-align: center;">< 観察・発言、発表の様子 ></p> <p>自信をもって発表することができるように「自信棒」、答えを間違っ言ってもいい「ドンマイ棒」を使ったりしながら、1年生も2年生も意欲的に関わられるように支援する。</p> <p>友達の発表の工夫や内容の珍しさに気付いている。</p> <p style="text-align: center;">(気付き) < 発言、発表の内容 ></p> <p>自分や友達のよさに気付くように声掛けをする。</p>
<p>終末 (5 分)</p>	<p>4 学習の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価カードに記入しながら学習を振り返らせる。

評 価 規 準	具 体 の 評 価 規 準
<p>「しぜんのなぞなぞ」を聞く人に分かりやすく発表することができる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>友達の発表に答えたり考えたりしている。 (思考・表現)</p> <p>友達の発表の工夫や内容の珍しさに気付いている。 (気付き)</p>	<p>カードにまとめたことを聞きやすい声で間違わずに発表する。</p> <p>発表している人を見ながら聞き、励まされながら答える。</p> <p>友達の発表の良かったところについて手を挙げたり、励まされながら答えたりする。</p>

個人別評価等記録カード

目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「しぜんのなぞなぞ」を分かりやすく発表することができる。 ・ 「しぜんのなぞなぞ」を発表会を通して、友達の発表内容のよさに気付いたり、進んで関わろうとしたりしている。
--

項目 児童名	観点・評価規準			
	関心・意欲・態度	思考・表現	気付き	他者との関わり方
		「しぜんのなぞなぞ」を聞く人に分かりやすく発表することができる。	友達の発表の工夫や内容の珍しさに気付いている。	友達の発表に進んで答えたり考えたりしている。
1 S・Y				
2 S・M				
3 O・K				
4 M・R				
5 S・Y				
6 N・A				
7 K・R				
8 T・T				
9 K・Y				
10 ・Y				
11 K・N				
12 S・Y				

観察記録等

しぜんのかなぞなぞさがそうよ

()ねん なまえ()

めあて

ともだちのはっぴょうで
すごいなとおもったことを
えにかいてみよう。

ともだちのはっぴょうで
すごいなとおもったことを
ぶんでかいてみよう。

ふりかえりかあと

- Q 1 がくしゅうはたのしかったですか？
- Q 2 わかりやすいはっぴょうができましたか？
- Q 3 ともだちのはなしをよくきけましたか？
- Q 4 はっぴょうのおてつだいができましたか？

生活科年間指導計画

目指す子ども像		<ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで地域の人と関わろうとする子ども ・ 自分のよさに気づき、友達や身近な人を大切にすること 				
月	単 元 等	栽培飼育	共通（環境・国際交流等）			
4	<p>なかよくなりたいね（18）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ しているひと・みちでであったひと 	<p>花と野菜を育てよう（4）</p> <p>収穫祭をしよう（3）</p>	<p>ウサギ</p> <p>ニワトリ</p> <p>の世話しよう</p>	<p>春の上野原学習（3）</p>		
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとのあつまるところ 				<p>の世話しよう</p>	<p>夏の上野原学習（3）</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ のうかのひと・こうじょうのひと ・ みんなに知らせる・たんけんはっぴょう 					
7	<p>しぜんのなぞなぞさがそうよ（12）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ しぜんのことはなそうよ 		<p>をしよう</p>	<p>冬の上野原学習（3）</p>		
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんなところをさがそうか ・ さがしてみようよ 				<p>をしよう</p>	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ こんなひみつあるんだよ 		<p>をしよう</p>	<p>えいごきょうしつ（6）</p>		
10	<p>まちのなぞなぞしりたいね（20）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちでできること・いろいろなばしょ 				<p>をしよう</p>	<p>冬の上野原学習（3）</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなでつかう・まちのなぞなぞ ・ みんなでできること 					
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ べんりちずづくり 		<p>をしよう</p>	<p>冬の上野原学習（3）</p>		
1	<p>いえでもたのしみたいね（12）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろなかぞく 				<p>をしよう</p>	<p>冬の上野原学習（3）</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ かぞくのたのしみ ・ みんなの1日・じぶんにできること 					
3	<p>すてきなじぶんをやってほしい（14）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ できるようになったこと・まえのじぶん ・ 小さいころのこと・大きくなったじぶん 		<p>をしよう</p>	<p>冬の上野原学習（3）</p>		
7 6 時間		1 1 時間			1 8 時間	